

終方針を見定めたいと思います。個人的な軋轢が、両市民の今後に悪影響が出ないように、お互いの良識ある対応をしていきたいと思っております。

遠坂峠のトンネル化促進

Q 小売業販売額は商業統計によると5年間で約18%、98億円の減。三洋電機跡地にイオンが出店予定と聞かれますが、そうならばなお一層の集客増を図らねばならない。集客増を図る範囲として、多可町八千代区、加美区、中町区などが候補に挙げられる。

八千代と通じる県道、この大和村とちよつど加西との境にあるこの遠坂トンネル、これを社会基盤整備プログラムに乗せていただくべく、加西市長と多可町長でアクションを起こしたいと考えています。

A 遠坂峠は、加西市から多可町への境部分が峠となっており、道路が1車線でありながら、屈曲し、通行するのに注意が必要な箇所となっています。しかしながら、現時点での県の社会基盤

整備プログラムの中には、遠坂トンネル計画は記載されておらず、今後の計画として要望していく必要があります。

多可町とのダイレクトリック、直結を考えるなら芥田の遠坂峠、それから河内の柳峠、この道路拡幅等は検討すべき課題かと思えます。多可町長からの打診、誘い水もありますし、その事業の可能性を探るとともに、連携して県にも要望していきたいと思えます。

環境保全について

Q 公害については笠屋の状況は改善されていない。また、ゴミや自転車等の放置対策、朝妻問題の未然防止策はあるのか。

A 笠屋町の公害について、市は基本的に現在の住宅地域での創業が問題との判断から、産業団地への移転を打診しましたが、移転が確定していない現段階では無理との回答でした。また、脱臭機の試験費用等々にも多額の資金を必要とするために、7月に県地球環境保全資金融資を申し込み、8月末に決定

しました。現在公害防止計画書の提出を求めています。今後提出されます計画書に基づき、この計画で悪臭の防止ができるのか、また計画どおり実行できているのか、融資元であります県とともに監視、指導を行っていきます。

放置自転車並びにゴミの件ですが、放置自転車は、処理にあたり担当部局並びに警察においても所有者があるのかないのかという判断が難しく、拾得物として処理をするのに大変苦慮しているのが現状です。ゴミ問題も含めて、市民への自覚というPRに加え、環境ハトロールをさらに強化していきます。クリーンセンターと衛生センターでも、気がついたゴミを、業務の早く終わつたときに集めて回ることも徹底しています。また、日誌もつけながらどこでどれだけの拾ったかというようなこともするようにはしております。それから、シルバー人材センターにも委託して、集中的に多く出ると思われるところを回っています。環境監視員(エコレンジャー)の募集締め切りが10月10

企業会計事業の立て直し

Q 市長は、県水や市川町の交渉等いろいろな努力をして、水道料金は下げられると言われる。

水道料金、下水道料金は2割も下げてもらえるのだから、どう考えても絶対的に金が足りない。水道料金が10円変わつたら、4,600万違ってくる。2割下げるとしたらかなりのお金がある。そういう財政状況の認識を市長もよくわかっているのではないかな。なぜ下げられませんか。水道料金の将来的な減額の可能性は、五つの方法を前々から申し上げていますし、来年度から新規水源開発の予算も導入したいと思えます。

私は、水道料金、あるいは税金という個別の値下げを言っ

ているではありません。業務全体を効率化して、むだを見直す中で、一方において受益者負担の原則も取り入れて、市役所全体の収益を高めながら、むだな支出を抑制しようとして上げています。収納率のアップもその一環です。

アイデアとしてあえて申し上げますが、水道事業を仮に民間化したら利益が出ている民間企業になります。それを上場すれば上場益で借金も返済できるのです。そういう可能性、将来的にできないかどうか見極めていくのが市長の責任だと思います。

いま加西市の財政、企業会計を含めて過不足(赤字)があります。そういう現実に対して私は経営努力をもって収支を均衡させよう、あるいは少しでも赤字を減らすと努力していることをご理解いただきたい。

乳幼児医療無料制度の拡充

Q 市長は少子化対策については重点を置いていきたいと繰り返し述べら

れている